

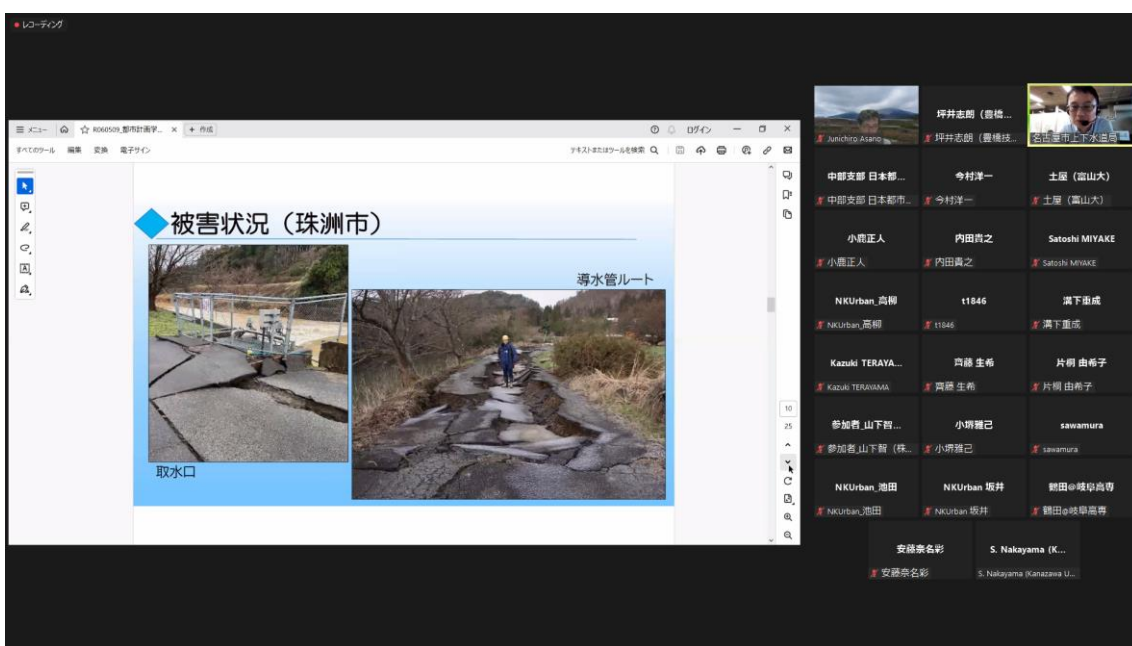
第2回 都市計画学会中部支部 能登半島地震対応コアメンバー会議主催

地元自治体による被災地支援の状況に学ぶ会

日時：2024年5月9日 18:00~19:00

会場：オンライン

参加者：25名



はじめに、浅野純一郎支部長（豊橋技術科学大学）より、本勉強会の趣旨及び内容について説明をしたうえで、名古屋市上下水道局より珠洲市及び七尾市への支援活動についてご報告いただいた。

名古屋市（上下水道局防災課松井氏）から、七尾市及び珠洲市への派遣状況や派遣者の先遣調査隊の体制準備、応急配水の状況、被害状況、上水道及び下水道の復旧方法、上下水道一帯の復旧の重要性についてご報告いただいた。初動の対応としては発災直後の1月1日18時すぎから対応が開始されたこと、1月7日～10日頃から復旧活動が本格化したこと、上下水道ともにシステム全体に深刻な被害があったこと、現在では七尾市ではほぼ応急段階が終わり復興段階に移りつつあること、珠洲市では通水率60～65%程度の復旧状況であること等が報告された。

質疑応答では、被災前の派遣体制の準備状況や復旧体制、被災時の上下水道の仕組み、仮設導水管を整備する際の用地利用方法、上下水道管の老朽化問題、仮設導水管の利用期間、現在の復旧率、復旧の内容（断水の応急対応、応急復旧から本復旧へ）等に関する質問があった。

（記録：坪井志朗）